会員各位

2012年2月
日本化粧品技術者会東京支部

第259回「学術講演会」のご案内

立春の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて今回は2題のテーマで「学術講演会」を開催致します。
1題目は、化粧品の容器設計に関して、素材・設計・意匠などの観点から歴史的な経緯、さらに容器材質と中身のインターラクションなど設計上の留意点についてお話しいただきます。
2題目は、ヒトの“痛みや痒み”の脳内認知機構に関する最新の機構解明状況、さらには“こころの痛み”に関する研究など、皮膚科学に立脚する化粧品技術にも多いに関係する興味深い内容のお話をお伺いします。
皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。　　（学術部会A）

記

1．　日 時 ： 2012年3月12日（月） 13:30～16:30　（13:00～ 受付開始）

2．　場 所 ： 学士会館（神田） 2F－202号室 （地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照）
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03－3292－5936

3．　講演

【講演-1】　13:30～14:45

『化粧品容器設計と意匠について』

株式会社トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員　　井上 隆 氏

［要旨］

化粧品容器の多くは、食品業界で開発された素材や成型方法に付加価値を付けながら進化してきました。1980 年代からは化粧品の内容物がより高機能化すると共に容器（意匠）も新素材や新成型技術を駆使しながら進化し続けています。

また、経済のグローバル化に伴い、商品設計においても世界のボーダーレス化が進んでおり、「バリアフリー」「グローバルスタンダード」であることが求められています。

本講演では、①1950 年代以降の化粧品容器の素材・設計・意匠など化粧品容器の歴史を振り返り、②商品設計時の容器別留意点を踏まえ これからの商品設計についてお話しいたします。

［講師略歴］

1971年　資生堂鎌倉工場入社、検査課（半製品・製品・官能検査）
1975年　技術部外装技術・品質保証
1999年　資生堂本社　購買部（材料購買）
2002年　生産技術開発センター
2005年　宣伝制作部（パッケージプロデュース）
2009年　資生堂退社
2010年　(株)トキワ入社　グローバルテクノロジーセンターにて新規外装設計及び開発を担当

【講演-2】 15:00～16:30

『ヒトの痛みと痒みの脳内認知機構』

自然科学研究機構　生理学研究所　統合生理研究系　教授　柿木隆介　氏

［要旨］

ヒトでの痛みと痒みの脳内認知機構を、高い時間分解能（ミリ秒単位）を有する脳磁図（MEG）と、高い空間分解能を有する機能的磁気共鳴画像(fMRI)を用いて解析した。近年の科学技術の進歩により、小径有髄の A-delta 線維（first pain）と無髄の C 線維（second pain）を選択的に刺激することが可能となってきた。どの部位が、どの時間帯に活動しているかについて最新の結果を報告する。痛みの程度は心理状態によって大きく変化する事は、私達自身がしばしば経験することである。それが科学的に証明されるようになった。さらに、「心の痛み」のメカニズムについても最近の結果を紹介したい。

痒みの研究は非常に遅れていたが、私達は、特殊な電気刺激によって痒み刺激を起こすことに成功し、痒みの脳内認知メカニズムを明らかにしつつある。少なくとも「痛みの軽いものが痒み」という医学伝説は間違いであることが徐々に明らかになりつつある。

［講師略歴］

昭和 53 年　九州大学医学部卒業
　　九州大学医学部付属病院にて研修（内科、神経内科）
昭和 57 年　佐賀医科大学内科　助手
昭和 60 年　ロンドン大学医学部留学（62年に帰国）
昭和 62 年　佐賀医科大学内科　助手に復職、その後講師に昇任
平成 5 年　　岡崎国立共同研究機構　生理学研究所　教授
平成 16 年　法人化に伴い、施設名称が自然科学研究機構に変更
日本内科学会認定医、日本神経学会専門医

［学会活動等］

日本生体磁気学会：会長
日本臨床神経生理学会(旧名：日本脳波・筋電図学会)：渉外理事
日本疼痛学会・理事
日本神経学会・評議員
編集委員：PAIN、The Open Pain Journal, Neuroimage 他

趣味：将棋（アマ三段）、俳句（伝統俳句、ホトトギス派）

以上

日本化粧品技術者会東京支部　事務局　行
（FAX:03－6431－9126）

第259回　学術講演会（開催日:3月12日）参加申込書

参加者氏名	該当に○　：　正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇　申込方法

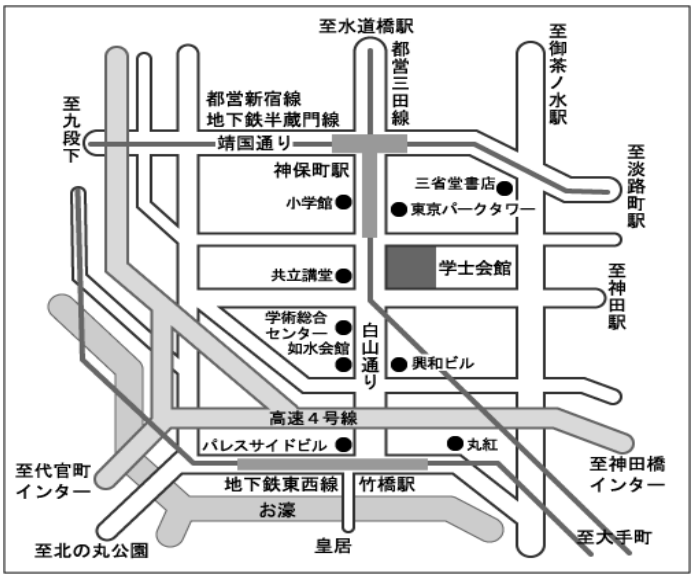
- ○　本申込書を事務局（03－6431－9126）にFAXして下さい。
- ○　参加費は無料です。
- ○　参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡（定員でお断りする場合）がない限り、参加可能です。
- ○　なお、正会員の代理者（1名）の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:3月6日（火）（厳守）

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇　お問合わせ先　日本化粧品技術者会事務局（東京支部）（TEL:03－6431－9196）

◇　会場（学士会館）略図



◇地下鉄　都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線　神保町駅下車（A9出口）徒歩 30 秒
◇地下鉄　東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分